

いしづち

愛媛労災病院広報紙 第9巻第3号

（通巻第57号）

2011年7月5日発行

発行人：病院長 内藤克輔

理念：当院は働く人々のために、そして地域の人々のために信頼される医療を目指します

- 基本方針
1. インフォームドコンセントの実践
 2. 安全かつ良質な医療の提供
 3. 勤労者医療の推進



ビスフォスフォネート系薬剤による顎骨壊死 2

産後祝い膳 3 手術室 3

新人医師紹介 4 夢のグランドスラム目指して - 野球部 - 4

愛媛労災病院市民公開講座「健康教室」予定表 4

ビスフォスフォネート系薬剤による顎骨壊死

歯科口腔外科部長 千葉 晃義

顎骨壊死をご存知でしょうか？近年顎骨壊死の発生が多く見受けられ、口腔外科学会においても話題になっています。ひとたび顎骨壊死を起こしてしまうと歯肉から骨が露出し膿が出て、進行すると神経の麻痺も出現して著しくQOL(生活の質)が低下します。(写真・壊死が下顎神経に達し神経麻痺が出現している)

古くは黄リンマッチ製造者がリンに暴露されることにより起こる(phossy jaw)が有名であったが、近年はがんや血液疾患などで投与された抗がん剤や放射線治療の副作用でみられるものが大半を占めていました。しかしここ数年では骨粗鬆症や悪性腫瘍による高カルシウム血症の治療薬として用いられるビスフォスフォネート系薬剤(BP製剤)の副作用として、顎骨壊死、顎骨骨髓炎の発現が多く報告されています。当院においても5名の方に発症しています。現時点では効果的な治療法はなく感染予防のための洗浄を行っています。発症率は15%とされていますが実際にはもう少し高いように思います。



BP製剤は骨を吸収する破骨細胞の働きを阻害しその結果、骨の新陳代謝のサイクルが変化し古い骨が除去されずに残存することになります。それにより血液循環は悪くなり防御能が弱まり拔牙等による外科的処置により壊死がおこるようです。しかし実際には拔牙以前から骨壊死は起こっているケースも多いようです。

海外ではほとんどが、がんの治療における注射薬により発症していますが、国内では約40%が経口薬で生じています。日本においては骨粗鬆症の治療薬として安易に処方されているケースも多いのではとの指摘もあるようです。

現時点での対処としてはすでに処方されている場合は拔牙等の外科的処置は避け治療します。しかし、本来は拔牙が必要な歯を残して処置するため理想的な歯科治療ができず患者さまに不利益が生じています。また、BP内服での治療中の場合は可能であれば約3カ月休薬し拔牙等の処置を行い、処置後3カ月治癒を待つ薬を再開していただくようにしています。これもまた、今拔牙必要な歯を3カ月も放置して拔牙するためその間、上手く食事ができない等の不便をおかけすることになっています。

今後の対策として大切なのはBP製剤の注射、投薬の前に歯科における検診を受けていただき拔牙の必要な歯は拔牙し、歯周病の方は歯周病の治療を行った後、注射、投薬していただくことが大事であると思います。またその後も口腔内を清潔に保つため定期的な口腔ケアが必要と考えます。

産後祝い膳

栄養管理部 西 麻 希

当院の産後祝い膳について御紹介します。写真のような状態で提供を始めたのは平成19年度からで、毎週火曜日か金曜日の夕食に、出産後の方を対象に提供しております。近隣にお住まいの方にも少し浸透されてきたのか、「この病院では出産したらステーキが出てくるらしいね。」と患者様から声をかけられたこともあり、非常に嬉しく思います。

当院の病院食は通常、食種別に大量調理された料理を、ベルトコンベアに流した盆にセットしていき、温冷配膳車に搬入していくというルートを経て病棟配膳していますが、産後祝い膳はこのルートとは別に、専任の調理師が単独で調理するため、なるべく病棟へ配膳する直前での調理が可能となり、集団給食では難しいメニューも提供できるようになっています。また、食器も洋風の磁器を使用します。

ちなみに写真左上は「チヌ」という魚を調理したものです。チヌは出産後の女性の血液を綺麗にするという言伝えがあり、出産後にチヌを食べる風習



があるためメニューに採り入れています。

病棟へは、コック帽に黒エプロン姿の調理師が、一名ずつお祝いの言葉を申し上げながらベッドサイドへお持ちします。食後にはデザートもあります。

食事に添えるカードの意見欄には多くの心温まるお返事を頂き、私達にとっても非常に励みになります。今後とも、入院患者様の御期待に少しでも応えられるような食事提供をしていきたいと思っております。

手術室

手術室師長 高橋 令子

手術室は、西山部長を中心に看護師15名で頑張っています。平成22年の手術件数は1,436件と、平成21年に比べ40件ほど増加しました。診療科別手術件数は、整形外科527件、婦人科350件、外科223件、泌尿器科163件、形成外科130件、歯科口腔外科32件、総合診療科11件です。整形外科は脊椎、骨関節外傷観血的手術、関節手術、手の外科と多岐にわたり、使用する器械もさまざまなため、手術前にメーカーから器械説明を受けイメージトレーニングを欠かしません。外科の腹部大動脈瘤ステント内挿術は、血管造影室でカテ室看護師と共同して手術を行い、低侵襲手術として患者様にも好評です。泌尿器科は愛媛県内初のHoLEP（経尿道的レーザー前立腺核出術）が開始されました。患者様のQOLを考えた新しい術式や進化する手術に遅れをとらないように、手術室の看護師は知識と技術の習得に努力しています。H22年から手術室看護師教育を充実するため、段階的習熟度別教育システムを導入し、目標をもって学習し、業務ができる環境も整えています。



最高裁の統計によれば医療過誤訴訟は年間約1,000件あり、内20%は手術関連ともいわれています。周手術期の安全管理を高めるため、患者氏名、患者ID、術式、左右を含む手術部位を、手術チーム全てのメンバーで確認するタイムアウトが100%実施できるよう、執刀医や麻酔医、看護師がチーム一丸となって努力しています。

1つの手術が無事に終わり、患者様や家族、医師から「ありがとう」と言ってもらえると、その瞬間、疲れも吹っ飛び、「またがんばろう！」と思う毎日です。安全、安楽な手術が提供できるよう手術室全体で取り組んでいきます。チームワークの良い手術室をこれからもよろしく願います。

新人ドクター紹介

氏名: **木暮 倫久**

所属: 形成外科

趣味・特技: 読書

出身県: 東京都

その他: 地域の方のお役に立てるように頑張ります。



氏名: **田島 基史**

所属: 泌尿器科

趣味・特技: ウェイクボード
スノーボード

出身県: 愛知県

その他: 至らない点も多くあるとは思いますが、よろしく願います。



氏名: **大膳 力也**

所属: 歯科・口腔外科

趣味・特技: 温泉
バスケットボール

好きな食べ物: 米

出身県: 愛媛県

その他: 皆さんのお力になれる様に一所懸命頑張ります。よろしく願います。



夢のグランドスラム目指して - 野球部 -

毎年、中国四国地区労災病院野球大会が開催されています。この大会は中国四国地区の労災病院6チームにより持ち回りで開催され、半世紀近く続いている伝統的な大会です。そんな中4月30日、山陰労災主催のもと当大会が行われました。昨年は新居浜市営球場で行われたため久しぶりの遠征です。学会出張とは違いわくわくした気持ちで日本海を目指します。

今回の試合は出雲ドーム。なんとドーム球場である。ドーム球場と聞くと東京ドーム、福岡ドームを連想しましたがそれとは方向性が違う球場でした。しかし屋根のおかげで途中の雷雨にも影響がなく試合に臨むことができました。初戦の相手は、前回大会当院に勝利し優勝した宿敵香川労災。山陰の地で昨年の屈辱を晴らす四国ダービーとなった。序盤は、ピンチを凌ぎながらも当院もあと1本がはず、エース大前と数年前まで当院医事課に在籍した好投手滝田の息詰まる投手戦。しかし中盤味方エラーと相手重量打線に捕まり4点差、終盤意地を見せ2点差まで詰め寄るが力尽き2年連続香川労災相手に初戦敗退です。

年度初めにキャプテン千葉が毎年掲げる目標があります。それは「年間グランドスラム」です。グランドスラムとは、医師会チームが中心となり行っている「リーグ戦」、「トーナメント戦」、そして「中四国野球大会」の3冠を奪取することです。残念ながら今年もグランドスラムの夢ははかなく消えてしまいました。行きのわくわくした気持ちとは反対に山陰のどんよりとした空のような気持ちで家路につきました。とほほ・・・。



愛媛労災病院市民公開講座「健康教室」予定表

会場: 愛媛労災病院南館2階・大会議室 時間: 15:00 ~ 16:00

回数	開催年月日	演題	講師
第94回	2011.07.21 (木)	むし歯の予防 (実験つき)	千葉晃義・歯科口腔外科部長
第95回	2011.08.18 (木)	肩こりについて	西原常宏・作業療法士
第96回	2011.09.15 (木)	糖尿病のくすりのお話	中井一彰・内科部長

(注) 日程・開催場所は、変更になることがあります。

※参加無料です

! 広報紙編集メンバー 委員長: 稲見精神科部長 委員: 友澤副院長、医局長 (中井内科部長)、看護副部長、外来師長、病棟師長補佐、大成薬剤師、小川作業療法士、正岡診療放射線技師、伊藤臨床検査技師、西主任栄養士、総務課長、庶務係長、地域医療連携室員